

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	003 -	事業名	人事事務事業			担当部課	市長公室人事課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計区分	一般会計					
	まちづくり行程表・フラッグ	—		予算区分(款 - 項 - 目)					
	第6次総合計画・基本目標	✓ 市民から信頼される市政の運営	2-1-4 人事秘書管理費						
	法定受託事務の有無	—							
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 地方自治法、地方公務員法							
事業開始の背景、経緯等		職員の雇用、給与支給等の管理を行う。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 定員適正化計画に基づき、計画的な職員採用や定員管理に努め、適材適所の職員配置を行います。また、給与事務の効率化のため、常勤一般職員及び特別職員の例月給与・期末勤勉手当等の電算処理を行います。							
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 職員							
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の定数、給与支給を適正に管理します。							
	事業を構成する事務事業(B票)	① 人事事務事業	改善・見直し	④					
	②		⑤						
	③		⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	事業費(A)	千円	予算	10,446	8,040	7,331	9,836	19,124	
			決算	9,513	7,464	6,085	9,041		
	人件費(B)	千円	決算	△	19,274	20,356	20,924		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	△	26,738	26,441	29,965			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	A 定員適正化計画での定員管理	人	目標	434	442	448	413	425	
			実績	437	446	468	413	423	
	B 時間外勤務時間の削減	%	目標	—	—	—	△5	△5	
			実績	△1	△4.5	△4.7	△10.9		
	C		目標						
実績									
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 定員適正化計画に基づき、職員数の適正管理を目指します。									
B 前年度と比較し、時間外勤務時間数の削減を目指します。									
C									
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成26年度に地方公務員法が改正され、人事評価制度を導入、活用することとなり、平成28年度から施行されました。また、消防広域化により、平成30年4月1日より消防職員が一部事務組合へ移行しました。							
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度に定員適正化計画を見直し、平成30年度より計画内での定員管理を達成しています。							
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成27年度から平成31年度の定員適正化計画の期間中に、想定を上回る住民増加による業務量の増加により、職員数が計画を上回ったため、平成29年度に定員適正化計画の見直しを行いました。また、平成30年1月より臨時的任用職員の管理システムを導入し、事務の効率化を行いました。							
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 職員の年齢構成にバラツキが見られます。							
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 継続的な任用を確保するため、職員募集の時期、PR方法の検討を進めます。							
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成29年度に定員適正化計画を見直したため、平成34年度までの定員管理を徹底していきます。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・本市の歳出における人件費の割合が他自治体と比べて高いことから、指定管理、外部委託の活用により、職員定数を増やさないことを前提とした定員適正化計画の見直しを行ってください。</li><li>・行政改革指針に基づき、働き方改革の推進、人員の適正配置に努めてください。</li><li>・職員の労務管理事務について、アウトソーシングなども検討してください。</li><li>・職員の生産性向上について、指標を検討してください。</li></ul>
------	-------------------------	---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	人事事務事業		担当部課	市長公室人事課	決算書ページ	—
事務事業名	①	人事事務事業	予算区分	2-1-4 人事秘書管理費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 職員の採用、給与、手当の支給、人事評価の実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の定数、給与支給を適正に管理する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	10,446 9,513	8,040 7,464	7,331 6,085	9,836 9,041	19,124
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		人事業務補助賃金					2,137 千円
(2)		人事給与システム保守委託					1,568 千円
(3)		庶務事務システム仕様変更業務委託					1,534 千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
職員数	人	見込	434	442	448	413	425
		実績	437	446	468	413	423
採用試験応募者数 (一次試験のみ)	人	見込	150	162	170	180	180
		実績	128	154	157	171	

<備考：活動の概要(30年度(2018))>

- 職員採用試験(6月、1月の2回実施。新規採用職員22人)
- 人事評価(正規職員と再任用職員を対象)と評価結果分析を実施
- 退職、再任用管理(退職者15人、再任用職員27人)
- 給与、手当の支給

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

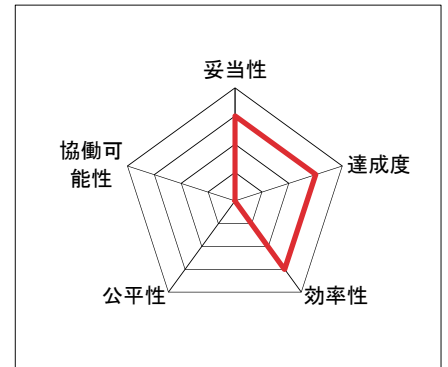
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)  
近年、人手不足から売り手市場となっており、民間企業での採用活動が早まっています。  
平成28年度より、人事評価の結果を翌年度の給与に反映させています。

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
9,836 千円 19,124 千円 9,288 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 現状維持
・前年度【コメント】
平成29年度と同様、平成30年度においても、愛知県内市町村の統一試験日より前倒しにて採用試験を実施していきます。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
平成30年7月の統一試験日より1か月早い6月に一次試験を実施し、昨年より多くの応募者を確保できました。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
------------------------

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
技師、保健師などの専門職及び障がい者の応募者数の確保

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**